



第 36 号

発 行
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地
電話 (0545) 55 - 2852
E-mail : fujishisyouboudan
@ex.city.fuji.shizuoka.jp



富士市在住のイラストレーター
コイズミチアキさんに制作していただき
話題になった消防団員募集のポスターです。
さまざまなメディアでも紹介されました♪

あなたも一緒に！
消防団員募集中
詳しくはこちらから→



クイズで学ぼう!

消 防 ・ 防 災

OXクイズ

何問正解することができるかな・・・?



【答えは各ページの下にあります】

QUIZ

第1問

火事で消防車を呼ぶときの電話番号は119番である?



※答えは
3ページ

QUIZ

第2問

お家の人ケガをした時に救急車を呼ぶときの電話番号は119番である?



※答えは
3ページ

QUIZ

第3問

間違えて119番に電話をしてしまったら何も言わずに直ぐに電話を切ったほうが良い?



※答えは
4ページ

QUIZ

第4問

火事や地震が起きたときはエレベータを使っていち早く逃げたほうが良い?



※答えは
5ページ

QUIZ

第5問

天ぷら鍋から火が出たので消火をするために水を掛けたほうが良い?



※答えは
6ページ

QUIZ

第6問

やけどをしてしまったら、できるだけ早く水で冷やしたほうが良い?



※答えは
7ページ

QUIZ

第7問

住宅用の火災警報器は火を使う台所にだけ設置をすれば良い?



※答えは
8ページ

QUIZ

第8問

地震が来て大きな揺れがおさまったので、とにかく急いで避難所に向かった?



※答えは
9ページ

QUIZ

第9問

消火器をいたずらされないように戸棚に鍵をかけてしまっている?



※答えは
10ページ

QUIZ

第10問

消防団の人は、いつも消防署で仕事をしている?



※答えは
11ページ

団本部

団長 中村 秀明

副 団 長 5名
正副部門長 6名
方 面 隊 長 7名

本 部 指 導 員 6名
正副ラッパ隊長 2名
団本部員総勢 27名

令和6年度消防団 地域貢献表彰受賞



富士市消防団は、この度令和6年度消防団地域貢献表彰を受賞しました。これは地域防災の中核を担う消防団の功績を称えるもので、全国で37団体が選ばれました。当消防団は、市内ショッピングモールでのPRイベントとして消防ポンプ車の展示やラッパ隊の演奏、「あつまれ！ちびっこ消防団」イベントなどを開催し、地域貢献に努めています。しかし、現在消防団員は減少傾向にあり、定員1,030名に対し、令和7年4月1日現在で634名、2年後には600名を下回ると予想されています。今後も団員確保を推進しますが、富士市民の皆様にも現状をご理解いただき、ご協力をお願いしたいと存じます。

副団長 永戸俊光

富士市消防団ラッパ隊 ふじかわ夏まつりで活躍！

ラッパ隊は、昨年コロナ禍と熱中症対策による開催規模縮小により富士まつりの出演がなくなりました。前期訓練の大きな目標であったイベントがなくなり、訓練に対するモチベーションをどのように維持していこうかと悩んでいるまさにその時に、富士川地区の夏まつり実行委員会の方から「参加してみないか」とお声がかかり、二つ返事で承諾したのを覚えています。はじめてづくしのことでしたが、隊員みんなと新たな舞台をどう盛り上げていけるかを話し合いながら訓練を積み重ねていく過程は、とても充実したものでした。2年目となる今年は、地元参加団体も大幅に増え、さらに賑やかなお祭りになりました。その中でもラッパ隊は「オープニングセレモニー」「ステージ吹奏」「花火のカウントダウン」という重要な場面でのラッパ隊吹奏をお任せ頂いており、市民への大きなアピールができていないか、と考えております。今後も続けて参加できるよう、そして消防まつりや出初式等の式典で素晴らしい吹奏ができるよう、訓練に励んでいきたいと思っております。今後とも応援よろしくお願いたします。

ラッパ隊長 清水博喜



第1問 クイズの答え欄



火事のときは「火事です」と言い、場所・状況・あなたの名前や電話番号をはっきりと伝えましょう。

第2問 クイズの答え欄



ケガや病気で救急車を呼ぶための通報の時は「救急です」と伝えましょう。

第1方面隊

所属分団:第1・2・3・25分団 管轄地区:吉原・伝法・広見・青葉台
消防車台数:5台 最寄り消防署:中央消防署・大淵分署

第1方面隊 新入団員紹介

消防団員になる

第25分団 澤木 春人

私が消防団に入ったきっかけは、知人からの紹介と、私の住む地域で高齢化が進んでいる現状を目の当たりにしたことです。地域の中で火災や自然災害、または突然のけがや病気で倒れる方がいた際、正しい知識を持っていれば、冷静に対応できるのではないかと考えました。

また、私は自営業で床屋を営んでおり、比較的時間の融通が利くため、消防団の活動や訓練にも無理なく参加できます。地域に密着した活動を通じて、仕事と両立しながら地元の安全や安心に貢献できる点に大きな魅力を感じました。今では仲間と共に学びながら、地域の一員としての責任とやりがいを実感しています。



第25分団
澤木 春人



第1分団
内藤 優



第3分団
渡邊 智哉

新入団員教育は充実した時間になりました。

新入団員教育で学んだ事を今後の分団での活動に活かします。

キッズチャレンジフェスに参加して

第2分団 団員 熊倉 貴広

この度、私はKIDS チャレンジフェスに参加してもっとこういう機会を増やした方が良いと思いました。市民とふれあいを持つことは、今後の入団に繋がったり市民の防災意識への向上に繋がると感じました。また、消防団は何をするの？どんな時に活動するの？と言った言葉が、当日は来場者から耳にすることが、私は多く感じました。イベント参加や主催イベントを増やし市民と多く関わりを持つことで団員確保や防災意識に導いていく架け橋になるんじゃないのかな！と思いました。

子供達も沢山来場してくれて、消防車乗車や防火服着装など楽しそうにしていました。

ほかにも救急体験や水消火器体験などあっても良いと感じました。

このようなイベントには参加したり主催して行ってほしいと思っています。宣伝し知ってもらえる重要性を今回、市民と触れ合う中で感じることができました。今後もこのような機会がある時は、積極的に参加していきたいです。自分達の街は自分達で守るためにも市民とのふれあいを大切にしていきたいです。



第3問 クイズの答え欄



間違えた場合は「間違えました」としっかり伝えましょう。

第2方面隊

所属分団:第4・5・6・7・12分団 管轄地区:今泉・原田・富士見台・神戸・青葉台・大淵
 消防車台数:5台 最寄り消防署:中央消防署・富士見台・神戸・青葉台・大淵分署



第2方面隊 新入団員紹介

第5分団へ入団して

第5分団 団員 山脇 貴也

近年、地震災害、林野火災、ゲリラ豪雨被害などの自然災害等が多く発生しています。気温上昇などで熱中症リスクも高く、自分自身の防災等の意識も強くなり友人の勧めで、地元の第5分団に入団しました。

春に新入団員教育に参加して、敬礼・整列・点呼などの基本動作や消防用設備の種類と使い方、消防団の役割や活動内容を深く理解することができ、地域の安全を守る責任の重さを実感しました。

私は先輩団員の姿を見習いながら、自分自身も成長し、仲間と協力して活動することで、地域の安全を守る責任の重さを実感しました。

そして、「私たちの町は自分達で守る！」という消防団魂を胸に、(真剣、責任)を貫きたいです。



第5分団
山脇 貴也



第12分団
前林 佑輔

第7分団について

第7分団 団員 山本 聡

私が所属する第7分団は原田地区を拠点とし、『原田小学校・原田まちづくりセンター』の近所に詰所を構えています。

周辺には製紙工場が多数立地しており産業の盛んな地域です。第7分団の歴史は、旧原田村の時代から続く歴史と伝統のある分団です。現在は、20名の団員が在籍していますが、近年では団員数の減少が課題となっています。それでも、自営業者をはじめ様々な職種の団員が日々の仕事と両立して消防団活動に取り組んでいます。私達は地域の皆様の安心・安全を守るため火災予防と防災活動を頑張って精進します。



第4問 クイズの答え欄



エレベータは止まって閉じ込められてしまう危険があるので、エレベータは使わずに階段で避難をしましょう。

第3方面隊

所属分団:第8・9・10・11分団
管轄地区:吉永・須津・浮島・元吉原・吉永北
消防車台数:4台 最寄り消防署:吉永分署・臨港分署

方面隊ポンプ車中継訓練

第8分団 班長 野本 佳孝



第3方面隊による消火訓練が旧吉原東中のグラウンドで実施されました。この合同訓練は毎年、秋と春の火災予防運動の期間に行われています。今回はグラウンド内にある防火水槽を水利として、各ポンプ車を8分団→11分団→10分団→9分団の順に配置し、各ポンプ車をホースでつないで放水を行う訓練とポンプ車を通さずにホースのみをつないだ訓練の2種類を行いました。この2種類の違いはポンプ車から放水する際の水圧の調整です。放水している筒先にかかる水圧も変わってくるので、様々な状況を設定した放水訓練は必要だと感じました。住宅や工場、山林等、多くの火災が発生しています。いざという時のために、これからも訓練は大切に行っていきたいと思えます。

第3方面隊 新入団員紹介



第10分団
野村 成哉

このたび消防団に入団しました。地域の安心・安全を守る活動を通して、自分自身も成長できたらと思っています。まだわからないことばかりですが、先輩方に教わりながら精一杯がんばります！



第11分団
鈴木 優介

消防団に入って半年が経ちました。秋の夜警や消火訓練、地域の水利点検などを通して、地域の安心・安全を守る活動の大切さを実感しました。経験を重ねる中で、仲間との連携や現場対応の難しさも学びました。今後も地域に貢献できるように努めていきたいです。



第11分団
小池 翼

地域の安心と安全を守る消防団の一員として誇りを持ち、知識や技術を学び続けます。仲間と協力し、迅速かつ冷静に行動できる団員を目指し、信頼される存在となれるよう努力します。

第5問 クイズの答え欄



油に水をかけると油が広がって余計に火が拡大するので、消火器を使うか、濡らしたタオルをかけて消火をしましょう。

第4方面隊

所属分団:第13・14・15・19・20分団
 管轄地区:富士駅北1・2、富士北、岩松、岩松北
 消防車台数:5台 最寄り消防署:西消防署

「富士市の消防団が大好きです」

第19分団 団員 辻 賢人



(写真:訓練風景)



(写真:かりがね祭「投げ松明」の警備風景)

はじめまして。令和5年度に入団し、前々号の新入団員紹介では写真のみでしたが、今回は執筆の機会を頂いたので、自己紹介をお届けします。小さい頃から消防が好きで私は、よく消防署に行っては、車両や装備品を詳しく見せてもらっていました。過去には、東京都内の消防団に所属しており、人口密集地での火災も経験してきました。

静岡に戻り富士市消防団に入団。入団後は皆勤賞というくらい意欲的に消防団活動に出席しており、車の運転も好きのため最近では機関員を担当しています。実家は建具屋をしており、入団してから今年で3年になりますが、災害時には分団の活動を優先させてもらえるなど理解ある環境なので、とてもありがたいと思います。

一方、障子や襖などの建具の加工では一度切りすぎたり削り過ぎたりすると取り返しがつかず、慎重さが求められます。ここに、消防団の活動に通じる部分があると感じ、多様化する現場で緊張感を持ちつつ適切な判断と迅速な対処ができるよう、常日頃から意識して仕事に取り組んでいます。今後も訓練や現場経験を積んで更に知識・技術を磨き、今まで以上に地域の頼れる存在になれるよう頑張ります!!

第4方面隊 新入団員紹介



第15分団
 福島 勇輝

2024年11月から第15分団員として消防団に入団した福島です。

仕事は、富士市役所で「知ると好きになる」を大切に富士市への愛着醸成に繋げるシティプロモーションを推進しています。

私が、消防団に加入したきっかけは、消防総務課の消防団担当である望月さんとの出会いです。彼が消防団員を増やすために、どんなPRが必要なのかを真剣に考え、精力的に行動している姿を見て、私にできることは何だろうと本気で考えた結果、自ら消防団員になり、しっかりと消防団の活動を「知る」ということが大切だろうと判断したからです。

人が幸せになるためには、第一に安全安心が不可欠だと考えます。消防団の価値は、地域の安全安心を地域の人たちが守るということだと思います。多くの方に消防団の価値を認識していただき、共に富士市を守る消防団員が増えてくれることを願っています。

私一人では、小さな力かもしれませんが、富士市の安全安心を守れる一人になりたいと思います。

第6問 クイズの答え欄



やけどをしてしまったらできるだけ早くきれいな水で冷やしましょう。
 痛みが軽くなり、悪化を防ぐことができます。

第5方面隊

所属分団:第16・17・18・26分団 管轄地区:富士駅南・田子浦・富士南
消防車台数:4台 最寄り消防署:南分署

分団の存続が危うい

第16分団 部長 宮崎 洋

私が所属する16分団は、10年前位から、団員の減少に悩まされています。そこで近年、新規団員獲得に向け地域のイベントに積極的に参加し、消防団への理解と協力を求める活動を始めました。

最近では、富士第二小学校で行われた七夕祭りに消防団のスペースを確保していただき、消防車の展示や本署よりお借りした子供用防火服や備品を使用して、消防車と一緒に記念撮影ができる体験等を行いました。家族連れや子ども達に消防を身近に感じてもらい同時に新規団員の獲得への勧誘を行いました。管轄地域での団員獲得へ、団長を中心に意欲のある分団員。

しかし、それだけでは現状は厳しく、富士市として消防団員の減員対策ではなく、増員政策を考えていただきたいです。



第5方面隊 新入団員紹介

消防団としての自覚と目標

第17分団 永戸 健太

私にとって消防団は非常に身近な存在でした。なぜかという、父が消防団員であり幼少期から消防まつりや出初式に通っていたからです。ある時、分団長から入団を勧めていただきました。いつかは、入団するだろうと薄々は感じていたので、父の後押しもあり入団することになりました。入団して数日後、火災出場がありました。実際に炎に包まれる住宅へ接近し放水した時は、火災の恐ろしさと消防団員の職務を自覚しました。今後は、ポンプ車の取り扱いを覚え、機関員になることを目標としております。

私は三交替勤務のため、平日に機関員として出場する可能性があります。所属する分団の皆さんは、ポンプ車の取り扱いや運転方法を優しく教えてくださいますので、今後も積極的に学んでいきたいと考えております。



第17分団
永戸 健太

消防団に入団して 第17分団 原 周子

私が消防団に入団したきっかけは、広報ふじで募集をしているのを見たからです。以前から関心はありましたが、私などがなれないと思っていました。

しかし、職場で救命講習を消防隊の方に教えていただいた際に、もっと学び、何かしら地域や人々の為に役に立つ自分になりたい、始めるとしたら今かと思い、勇気を出して連絡を入れました。

見学・体験と話はどんどん進みましたが、分団長をはじめ団の先輩たちが親切に色々優しく教えてくれたので不安はそれ程感じませんでした。正式に入団してすぐに方面隊の放水訓練や様々な訓練、そして6月に新入団員教育を受けて、改めて規律やポンプ車、ホースの取扱い等を他の団員の方々と基本を学びました。キビキビと号令で皆が動く中、自分も身が引き締まる思いで、一生懸命取り組みました。

まだできないことばかりですが、早く先輩についていけるようになりたいです。これから先自分にできることを増やして成長し、女性でも頼りにされる団員となるように頑張ります。



第17分団
原 周子



第18分団
依田 悟

第7問 クイズの答え欄



台所だけではなく寝室や階段(2階に寝室がある場合)にも設置しないとけません。

第6方面隊

所属分団:第21・22・23・24分団 管轄地区:鷹岡・天間・丘
 消防車台数:4台 最寄り消防署:鷹岡分署

方面隊合同放水訓練

第24分団 団員 近藤 剛

8月24日に第6方面隊合同放水訓練が行われました。放水訓練は分団でも行われていますが、方面隊として協力して大規模火災に対して滞りなく作業が行えるように連携などが主な訓練対象となります。

24分団以外の方と協力して作業を行い、緊張感ある中で訓練を行えるのは良かったなと思います。



第6方面隊 新入団員紹介



第21分団
大室 陽生



第21分団
山口 和馬



第22分団
高平 純基



第22分団
鈴木 大幾



第23分団
佐藤 恭平



第23分団
齋藤 正貴



第23分団
西村 尚也



第23分団 西村 尚也

私が消防団に入団したのは、団員の方のお誘いがきっかけです。建設会社の現場管理を行っていたので、消防設備を目にすることはありましたが、実際に使用する姿を見たことはなかったので、どのように使うのか興味がありました。

消防と建築とは密接に関わることもあり、消防団の経験は本業の方でも、物の見方が変わるのではないかと思います。4月の入団から放水訓練、防災訓練に参加していますが、基本動作やポンプの始動手順など基本を覚えて、地域のために働く一員として頑張っていきます。

第8問 クイズの答え欄



避難する前に電気のブレーカを落としましょう。
 落としていないと停電から復旧した時に「通電火災」がおきてしまうことがあります。

第7方面隊

所属分団:第27・28・29・30・31分団 消防車台数:5台

管轄地区:中之郷・岩淵・木島・南松野・北松野 最寄り消防署:富士川分署

JR職員、消防団員になる

第30分団 団員 滝 正浩

「JR職員、消防団員になる。」(とある職種の団員にインタビュー)当分団でJR職員をしている滝正浩団員にインタビューをしました。

Q.消防団になって何年目ですか？

A.何年経ちましたっけ？(笑)3年？4年？たしか運転士の時に消防団に入ったから…4年、ですかね？

Q.ちなみにJRの職員さんになって何年目ですか？

A.えっと、18歳からなので、……23年くらいですかね。

Q.すごいベテランさんだったんですね。今はJRで何のお仕事を？

A.今は、運輸区っていうところで働いていて、運転士さんや車掌さんに必要な物を1日分セットして渡したりしています。

Q.消防団に入ったきっかけは？

A.仲間の分団員さんに紹介されて、ですね。

Q.無理やり入れられてないですよ？(笑)

A.そんなことは…ないですよ？(笑)まだ、松野に引っ越してきたばかりだった頃だったので、土地勘も少ないし、知り合いもいなかったんで、消防団に入れた事が本当にいい機会でした。会社内の人間関係だけではなく、消防団に入れば様々な職種の団員さんが居て、話が聞けるからとても新鮮ですね。

Q.消防団に入って、JRでのお仕事に活用できることはありますか？

A.沿線で火災があると、今までは正常運転になるまでに、単に時間が掛かるなあって思ってたんですけど、実際に消火活動に参加すること



によって理解が深まったり、その大変さが理解できました。

Q.消防団に入って、良かったと思えることを教えてください。

A.他の団員のみなさん多種多様な仕事についているので、例えば車両整備の仕事をしていたり、電気の仕事をしていたりする人たちの専門的知識に触れられて為になります。

自分の親も地域で消防団員やっていて、奥さんの親も消防団員だったので、なんとなくですが消防団については理解はしていました。小さいときには詰所に遊びに連れていってもらったり。

Q.親御さんも消防団員だったんですね。

A.ちなみに、親もJRの職員だったんです。何なら、曾祖父から4代続くJR職員なんです(…ビックリ！滝さん只者ではなかった。)

Q.皆さんに最後にお伝えすることがありましたらどうぞ。

A.消防団活動は、地域にとって必要なことだと思いますが、通常の忙しさもあってなかなか参加することもできないこともあります。でも、詰所に行ってみれば、いろいろな人たちといろいろな話も(消防団活動以外での話などもできて)とてもためになることが多いです。もっと団員さんになってくれる人が入ってくれるといいですね。]

とある職種の団員にインタビューしてみる事を目的に、今回はJRで職員をされている滝団員にインタビューを行いました。普段は気さくで温かな滝団員の仕事の顔や考えを垣間見る良い機会でした。

(第30分団 望月 雄介)

松野地区 おぐるま夏祭り開催

第31分団 部長 高橋 洋介

昨年度より地域の活性化を兼ねて松野地区の夏祭りが開催されるようになりました。

地元の方の協力により松野学園のグラウンドを使用して露店をはじめとして、夜には盆踊りそして花火大会と今年は昨年よりもさらに盛り上がりを見せ、地元消防団30、31分団にも露店の出店とポンプ車の展示・体験、花火大会の警備の協力要請があったので、進んで協力をすることにしました。

地元での行事活動がだんだん少なくなっていく中で、地域の活性化をしていこうと声があがり盛り上げていこうということはとても嬉しく、地元との密着の強い消防団としても是非今後も応援したいと思いました。

若い人たちも大勢来るようになり、消防団の勧誘も含めて来年も協力していきたいです。

皆さんいつでも消防団は団員を募集してますのでよろしくお願いします。



第7方面隊 新入団員紹介



第27分団
星 裕介

消防団に入ったきっかけは、消防士になりたいと面接にいかせると思い入団しました。



第28分団
友保 智美

入団のきっかけは、主人が入団していたことが大きいですが、まずはAEDを学びたいと思っています。

第9問 クイズの答え欄



消火器は、いざというときにすぐに持ち出せるような場所においておきましょう。

富士市女性消防団員連絡協議会

活動開始:令和2年～
在籍数:17名(令和7年10月現在)

富士市では女性団員も各分団に所属し、男性と共に活動しています。
協議会は、普段はそれぞれの分団で活動する女性団員が、協力して啓発事業に参加したり、情報共有するための組織です。



会長 第16分団
桑原 裕子

消防団としての活動は、所属分団にて消防車の点検を月に2回、ポンプ車・小型消防ポンプを使い放水訓練しています。
その他に富士市女性消防団員連絡協議会として、消防団イベント(消防クイズコーナー担当)、地域イベント(消防車乗車体験、活動服・防火服着用体験)、救急体験(心肺蘇生法、AED)等に参加しております。
市民の皆様のお役に立てるよう、これからも活動して参ります。



普段は男性と共に各分団で活動

富士市女性消防団員連絡協議会 委員紹介



副会長 第9分団
杉山 文香



会計 第24分団
望月 恵里



委員 第28分団
大久保規子



委員 第6分団
杉山 理絵



委員 第8分団
大木扶美子



委員 第9分団
伊藤 春香



委員 第9分団
大木 麻衣



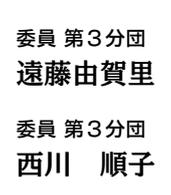
委員 第17分団
原 周子



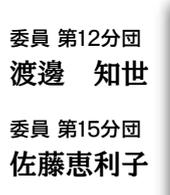
委員 第28分団
蓑 佑貴子



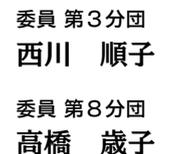
委員 第28分団
友保 智美



委員 第3分団
遠藤由賀里



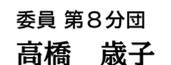
委員 第12分団
渡邊 知世



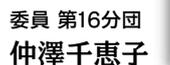
委員 第3分団
西川 順子



委員 第15分団
佐藤恵利子



委員 第8分団
高橋 歳子



委員 第16分団
仲澤千恵子



普通救命講習なども行っています!

協議会所属 女性団員 活動写真

【お問合せは】
消防総務課
☎0545-55-2852
消防団担当まで



第10問 クイズの答え欄



消防団の人は、ふだんは別の仕事をしていて、火事や災害が起きた時に、消火活動や救助活動を行なっています。

消防団員確保対策プロジェクト

活動開始:令和元年～
在籍数:9名

消防団員確保対策プロジェクトが発足してから約5年が経過しました。最初は手探りの状態からどのように運営していくかからはじまり、各イベントに参加して消防団について市民に活動を知ってもらい理解・興味に繋げていく所からスタートしていきました。少しずつではありますが成果が出てきていると感じています。また、昨年度からイベントに参加するだけでなく、イベントを企画して市民の皆様により一層消防団に興味を持っていただけるように活動を行っております。



これからも、小さな積み重ねを大切にして、消防団員の確保・市民の皆様への理解とご協力に繋がっていきますよう、プロジェクトチームの運営に努めたいと思います。

確保対策プロジェクトリーダー 杉山知之

富士市消防団協力事業所の紹介

令和7年11月27日現在

1 富士トラック 株式会社	17 シンセア環境サービス 株式会社	33 有限会社 秋山配管工業所	49 ふじさんあおぞら 株式会社
2 株式会社 三和工務店	18 有限会社 大塚技研	34 松本工業 株式会社	50 土屋工業 株式会社
3 株式会社 佐野商事	19 有限会社 飯田電設	35 junprogresso (ジュンプロGRESS)	51 有限会社 エミネント
4 平松建築	20 株式会社 西尾組	36 株式会社 YOSHIKAN	52 富士伊豆農業協同組合 富士地区本部
5 深沢消防産業 株式会社	21 株式会社 佐野総業	37 ナーセリーイデ	53 株式会社 藤島組
6 株式会社 川嶋組	22 遠藤建設 株式会社	38 佐野文彦 (不動産業)	54 陽和
7 影山モータース	23 株式会社 富士の国 渡邊農園	39 有限会社 佐野自動車工業	55 有限会社 鈴国
8 田中豊工業	24 サンコー防災 株式会社	40 株式会社 伊藤電気	56 矢島ワールド
9 合資会社 堀野紙工	25 税理士法人 IBS富士事務所	41 株式会社 一商会	57 佐野晶彦
10 有限会社 増田製袋	26 株式会社 加々美	42 有限会社 アカイケ家電	58 株式会社 秋山オート商会
11 三晃堂鍼灸治療院	27 株式会社 司技研	43 富士信用金庫	59 井出裕樹
12 株式会社 大善工務店	28 有限会社 ヤザキ総合エクステリア	44 大久保電気工事	60 グリーンカブス製業 株式会社
13 有限会社 池田自動車工業	29 株式会社 プレーン	45 株式会社 翔栄電工	61 亀井ブルドゥーザー工事 有限会社
14 山本土建	30 和田建設 株式会社	46 認定こども園 曙幼稚園	62 広栄住宅 有限会社
15 桑原左官工業	31 株式会社 イチエイ	47 株式会社 仲神設備	63 陵南紙工
16 静岡日野自動車 株式会社	32 有限会社 三浦電気	48 さとう産業 株式会社	64 天野工務店

編集後記

消防団だよりを発行するにあたり、団員及び団員ご家族様、また関係団体の方々には多数の寄稿をいただき厚く御礼申し上げます。

そして日頃の消防団活動に対し、多大なご理解、ご協力を賜りこの場をお借りして感謝申し上げます。

我々富士市消防団は、多様化する災害に対し、迅速かつ適切に対処できる知識と技術を習得するため日々の訓練に努めております。

自信と誇りを強く持ち、団員各位の意識高揚とさらなる団結心を養い、これからも市民の生命と財産を守る使命を全うしていきます。

結びに日頃の消防団活動を多くの人に広く知っていただくために様々なPR活動を行っている中で、消防団に少しでも興味を持ってもらいたいと思っております。

そして、この消防団だよりが団員確保に向けた取り組みに繋がることができたら幸いです。

今後も温かいご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

団本部	総務部長	杉尾 雄司
団本部	副総務部長	天野 貴之
第1方面隊 第25分団	係 長	鈴木 信一
第2方面隊 第4分団	班 長	佐野 正明
第3方面隊 第8分団	班 長	中西幸一郎
第4方面隊 第13分団	係 長	福島耕一郎
第5方面隊 第24分団	班 長	鈴木 智亮
第6方面隊 第30分団	係 長	渡辺 洋史
第7方面隊 第30分団	班 長	佐野 和也
女性消防団員 連絡協議会	団 員	杉山 文香
女性消防団員 連絡協議会	係 長	大久保規子